

第12期 第3回 京田辺市ごみ減量化推進審議会議事録（要旨）	
日 時	令和5年3月30日（木）午前10時00分～午前11時50分
場 所	京田辺市保健センター第1保健指導室
案件名	<p>議事</p> <p>（1）京田辺市家庭から出されるごみに関するアンケート調査結果について</p> <p>（2）第2次京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画概要（案）について</p> <p>（3）ごみ処理に関する事業者ヒヤリングについて</p> <p>（4）策定スケジュール（案）について</p> <p>（5）その他</p>
概 要	<p>・審議事項などについて、事務局より説明を行い、ご了承いただいた。</p>

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事

○京田辺市家庭から出されるごみに関するアンケート調査結果について

委員：アンケートの回答者数は1,500人で回収率は42.1%だが、正確に市民の意見を反映されていると思うのは、危険ではないかと思うが、いかがか。

会長：配布数が1,500人で、有効回答が4割くらいだが、前回は何割くらいだったのか。一般的な市民向けアンケートは大体4割くらいと言われている。比較的熱心な方が回答されているので、正確に反映されているとは言いつらいところもあるかも知れないが、調査には限界があるので、仕方ないのかと思う。

事務局：前回のアンケート調査は、平成24年10月19日から約1か月行った。対象は18歳以上の京田辺市民2,000人。回収数9,411件、回収率が47.1%であった。

○第2次京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画概要（案）について

会長：アンケート調査の結果で、十分に情報発信されておらず誤解もあるということのを再認識する必要があるかと思う。また、DX（情報技術）をこの分野に取り入れることが大きな流れとして必要だと思います。単なる情報発信だけでなく物の管理、製品のトレーサビリティも考えていき、計画に盛り込んでいければと考えている。

委員：今国では製品プラの回収が、開始されている自治体もあるようだが、製品プラ回収に関して、市で考えていることはあるのか。

事務局：現状は、具体的に、何も決まっていない。

○ごみ処理に関する事業者ヒヤリングについて

会長：数件のヒヤリングでどれくらい効果があるかは疑問である。計画に反映する事を目的にするならば、労力がかかるが、アンケート調査も検討されてはどうか。それぞれの事業所が創意工夫、先を見据えて、取り組まれるような事例もあると思うので、そういう事が聞き取れるような、大規模調査をしていただければいいと思う。その中で何件かヒヤリングするような形を考えてもらいたい。

【閉会】